## CONTENTS

伝統、創造、自然が織りなす 誇りあるまち 🎝 🤿

イントロダクション「つなぐ」
市民憲章 [小千谷市民のねがい] ――
発刊によせて [市長メッセージ] ———
明日へ、未来へ つなぐ
まちづくり 6つの想い ―――
[小千谷市のまちづくり基本構想]
【第1章】人を育み文化の香るまち ―――
【第2章】安全で快適な美しい環境のまち―
【第3章】健康で安心して墓らせるまち ――

【第1章】人を育み文化の香るまち ――――
【第2章】安全で快適な美しい環境のまち―
【第3章】健康で安心して暮らせるまち ――
【第4章】活気に満ちた産業のまち ―――
【第5章】豊かな自然環境と共生するまち――
【第6章】 人と人とがふれあうまち ――――
らぢや・フォト歳時記
りられ、フォト成町山

伝統を次の世代	代につな	ぐ。
+4+"14-1		

【復興検証】

中越大震災からの10年

おぢやんしょインタビュー	
【錦鯉】	2
【小千谷縮】————	2
【花火】————	2
【牛の角突き】 ―――	3
おぢやの宝もの ―――	3
おぢやの先人――――	3
おだめシティデータ	3



# 発刊によせて

小千谷市長 大塚 昇一 Shoichi Otsuka, Ojiya City Mayor

平成26年、中越大震災から10年の歳月が流れました。全国から多くの ご支援をいただきながら市民と行政が一丸となって、復旧・復興に取り組 んできました。この10年間の受け止め方は様々ありますが、「復興した」と 答える人が大多数となりました。

ここに至るまでの過程で人情と温かみ、社会への信頼感、交流や社会 参加などが確実に増えてきています。言いかえれば、小千谷を愛する心が ますます育ったのではないでしょうか。

この市勢要覧では、本市の取組や魅力などをさまざまな角度から紹介し ています。おおぜいの方々に本市を知っていただき、そして、私たち市民が 誇りと感じる豊かな郷土を実感していただければ幸いです。

「誰もが生涯楽しく住み続けることのできるまち小千谷」を創るべく、新た な挑戦を一緒に始めましょう。

#### On the occasion of publication

2014 marks the 10th year of the Mid Niigata Prefecture Earthquake. Our residents and the local authority have united as one in the recovery and reconstruction, with a lot of support from around Japan. There are many ways of interpreting the past 10 years, but majority of the people have responded that we have 'recovered'.

In reaching this point, the human empathy and warmth, the sense of trust toward society, the interactions and social involvement have steadily increased. In other words,

the love toward Ojiya has grown further.

This city directory introduces the efforts and charms of our city from various angles. It would please us if many people could come to know about our city, and experience our rich local character, which we are proud of.

To make 'Ojiya a city where everyone can continue to enjoy living in', let us begin on

業の

# 日本海東北 自動車道 中条 毀越白動車道 練馬o 東京

上越新幹線を利用した場合

東京から上越新幹線・JR上越線

新潟から上越新幹線・JR上越線

※乗り換えに要する時間、電車の待ち時間は

○ 宮内駅 ○ 越後滝谷駅

小千谷駅

| 裁後川口駅

北堀之内駅

小出駅

東京

(長岡駅乗換)で約2時間

(長岡駅乗換)で約40分

高速道路を利用した場合

関越自動車道で約2時間30分

関越自動車道で約1時間30分

北陸、関越自動車道で約50分

北陸、関越自動車道で約40分

小千谷I.C

東京

種里I (から

高崎ICから

新潟西I.Cから

上越I.Cから



雪国にちなみ外郭を雪の結晶で表し、すいせんは、雪消えとともに芽生え、着 中央に「小」の字を図案化し、円でまとを告げる花です。また、冬の寒さに負け めてあります。克雪都市・小千谷市が ない生命力の強い花として、多くの家 市民の和と協調により大きく発展する 庭で栽培され、市民に親しまれていま す。そうした克雪への思い、雪解けの

#### 春への思いをすいせんに託しました。 The circular emblem centers upon a

City's flower - Narcissus stylized character '小', surrounded by the The narcissus is a flower that heralds the outline of a snowflake to represent Ojiya as a snowy region. It symbolizes the snowy city Ojiya's great progress through harmony and partnership with its people.

arrival of spring as it buds with the melting of the snow. Narcissus is grown in many homes as a vigorous flower that is resistant to cold and is loved by the city's inhabitants. The narcissus represents our sentiments toward the snow and springtime when the snow melts.

### おぢやイメージキャラクター よし太くん

平成23年2月22日

ター。国指定重要無

仕切るときの掛け声「よした―」が名前 の由来。ちなみに「よした」は方言で、 標準語では「よくやった」「よくできた」

#### Ojiya's image character, Yoshita-kun

The brocade carp, which was extensively damaged by the Mid Niigata Prefecture Earthquake, was established as the city's fish on the 23rd October, 2014, on the 10th anniversary of the earthquake, as it has symbolized our experience of the disaster and subsequent reconstruction. Our hopes for resurrection are represented by the image of the brocade carp swimming elegantly and powerfully in the

## 市の魚 錦鯉

ことを象徴しています。

City's emblem

中越大震災で甚大な 被害を受けた錦鯉は、 被災経験とその後の 復興を象徴することか ら、震災から10年を迎 えた平成26年10月2

3日に市の魚に制定しました。震災か 上越方面 新潟方面 ら復旧した養鯉池で優雅に力強く泳 長岡J.C.T ぐ錦鯉の姿に、これからの復興の思い 長岡I.C を重ね合わせています。

#### City's fish - Brocade carp (Nishikigoi)

に発表された小千谷 市のイメージキャラク

形民俗文化財「牛の 角突き」の闘牛がモチーフで、勝負を

などにあたります。

Ojiya City's image character was launched on the 22 February, 2011. The horned bull is inspired by the 'bull fight', a significant, intangible folk cultural asset of Japan, and the name derives from the cry 'Yoshita!", which is uttered when determining the fight. The word 'Yoshita' is a dialect, which in standard



## 「中越大震災の日」

平成16年10月23日に発生し、一瞬のうちにかけがえのない 多くの生命と財産を奪い、本市に未曾有の被害をもたらし た新潟県中越大震災の経験と教訓をいつまでも忘れること なく継承するとともに、市民一人ひとりが防災意識を高め、 安全、安心に対する誓いを新たにする日として、10月23日を 「中越大震災の日」と条例で定めました。(平成26年9月22日議決)

0

